

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	妊娠への否定的態度と子の発達遅延との関係に対するソーシャルサポートの媒介効果（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> エコチル調査参加に同意されている女性とお子さま約 10 万人</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 妊娠に対する否定的な気持ちは子どもの発達の遅れと関係すると考えられています。これがソーシャル・サポートによってどの程度まで軽減できるかわかっていませんでした。そこで今回、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」の既存のデータを使って、妊娠への否定的態度と子の発達遅延との関係に対するソーシャルサポートの媒介効果を検討します。これにより、子の発達遅延の低減に有効な方策の検討に資する信頼性の高いデータを得られると考えています。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 出産前から出産 4 年後までにご回答いただいた質問票の回答およびカルテから転記した情報を用いて解析します。本研究のために、新たに情報を収集することはありません。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日～2026 年（令和 8 年）3 月 31 日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 本研究の成果は、関連する学会や学術雑誌で発表されます。 なお本研究の実施に際しては、利用する情報からお名前、住所などの個人情報には削除いたします。研究成果の発表においても個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （他機関への提供の有無）	カルテ転記票及び質問票より得られた子ども（0～4 歳）の発達状況、妊娠を知ったときの気持ち、ソーシャル・サポート、年齢、妊娠前 BMI、収入、学歴、婚姻状況、喫煙状況、飲酒状況、出産歴、仕事、葉酸摂取、運動量、精神疾患既往歴、親（自分と相手側それぞれ）との同居、居住地域など 他機関への提供：無
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学長 齋藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076（434）7279 FAX：076（434）5023 e-mail：kmatsumu@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 講師 松村 健太